

## II 基本構想

### 1 教育を取り巻く環境と課題

#### (1) 予測困難な時代の到来

高齢化と急速な少子化による人口構造の変化、地域コミュニティの機能低下、  
\*DXの進展や\*AIなどの技術革新、グローバル化の進展などに加え、国際情勢が不安定になるなど、将来の予測が困難な時代となっています。

#### (2) 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の流行により、体験活動や国際交流の機会が制限され、子どもたちが多様な人と出会い学ぶ場が減少したことから、学校が果たす「居場所」や「\*セーフティネット」としての役割や、地域とのつながりの重要性が改めて認識されました。

#### (3) デジタル化の進展

2030年頃には、ビッグデータ、AI等をはじめとする技術革新が一層進展し、社会や生活を大きく変えていく\*超スマート社会（Society5.0時代）の到来が予想されています。

#### (4) 子どもをめぐる教育環境の多様化

社会の多様化が進む中、学校においても、子どもたちを取り巻く環境の変化や、子どもたち自身の多様化が進んでいます。

学習面、行動面で困難を示す子どもや不登校の増加、いじめ事案の深刻化など、子どもの心身の健康にかかわる課題は看過できず、多様な子どものニーズに応じたきめ細やかな支援体制の構築が求められています。

#### (5) 令和の日本型学校教育の推進

新しい時代の初等中等教育の在り方について、令和3年1月に、\*中央教育審議会から、「令和の日本型学校教育」の構築を目指す答申がありました。

答申では、これまでの学校教育の良さを発展させながら、全ての子どもたちの可能性を引き出す、\*個別最適な学びと\*協働的な学びの実現を目指すことが示されています。

#### (6) GIGA スクール構想の推進

国の第3期教育振興基本計画期間中には、GIGAスクール構想により\*ICT環境が整備され、\*デジタル学習基盤を活用した学習環境の充実が図られた一方で、こうした成果を学習活動の質の向上につなげるためには、教員の指導力向上や家庭・地域の協力が不可欠であることが認識されました。

#### (7) 学校における働き方改革

教職員の\*働き方改革は一定の進展が見られますが、依然として長時間勤務や教員不足が課題であり、持続可能な教育環境づくりが急務です。

## (8) 生涯を通じた学び

個人の人生の充実とともに、社会の持続的な発展のために、\*生涯学習社会の実現が一層求められています。

さらに、社会人の学び直しやすすべての人が豊かな人生を送ることができるよう、生涯を通じ学習することを可能にすること、歴史や文化財の保存・活用、老朽化した教育施設の改修など、こどもから大人まで誰もが安心して学べる環境整備が求められています。

## 2 本市の現状と課題

前計画の期間中は、新型コロナウイルス感染症の動向などにより、本市の教育を取り巻く環境も目まぐるしく変化してきました。

学校教育においては、「社会のニーズに応じた教育の推進」として、\*一人1台端末を活用しながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた授業改善に取り組み、子どもが主役の授業づくりが進んでいます。

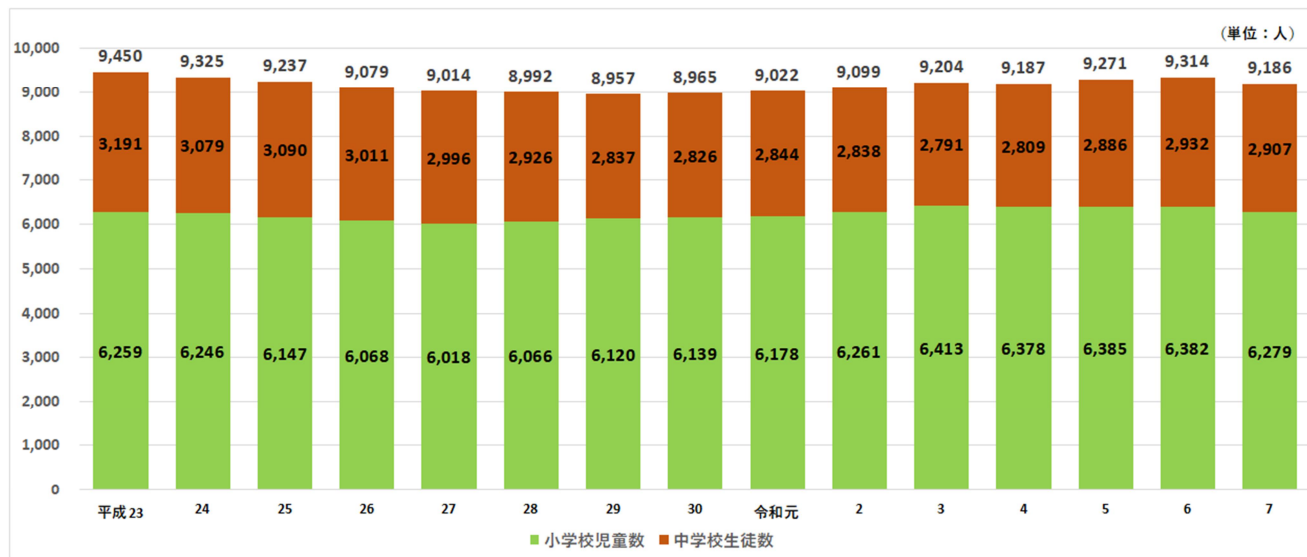
これまでの取組により「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む児童生徒の割合」などについて、一定の成果が見られます。

また、令和5年度には、\*コミュニティ・スクールを全校に導入し、地域とともにある学校づくりを進めています。

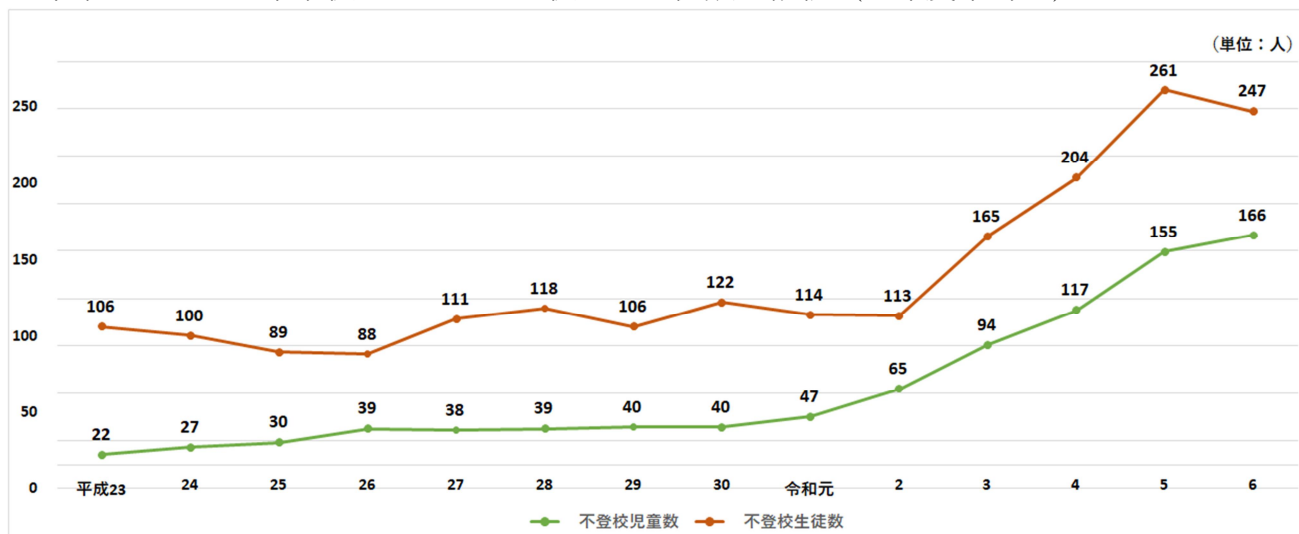
一方で、学校で生起するいじめが深刻化するケースが増加し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、不登校児童生徒の割合も急増しており、一人ひとりに応じた支援や、誰もが安心できる居場所の整備が急務です。

加えて、人口構造の変化や施設の老朽化などが進む中、学びを支える環境づくりも課題です。

本市の公立小・中学校における児童生徒数の推移（毎年度5月1日時点）



## 本市の公立小・中学校における不登校児童生徒数の推移（毎年度末時点）



社会教育・生涯学習においては、これまで\*市民センター等を中心に住民が気軽に集い、学ぶ機会の充実に取り組むとともに、幅広い地域住民の参画を得て、地域の実情や特色に応じた\*地域学校協働活動を展開してきました。

一方で、町内会の加入率低下、高齢化などにより、多くの地域でコミュニティの希薄化が進み、様々な団体で担い手の不足が生じており、学びを通じた人づくりやつながりづくりによって、住民相互の支え合いによる地域課題の解決を図ることが期待されます。

加えて、様々な要因により、家庭での教育が難しくなりつつあり、学校への依存と負担増加が生じているため、学校・家庭・地域が連携し、社会全体でこどもの成長を支える仕組みづくりを進め、地域全体の教育力を向上させることが必要です。

また、市民センターや図書館などで幅広いテーマの学びの機会が提供されていますが、\*人生100年時代を見据え、生涯にわたって新たな知識や技能を得ることや、学び直しの必要性が高まっており、市民一人ひとりの成長と地域の持続発展に資する学びの環境の充実が求められています。

スポーツ・文化芸術においては、スポーツ・文化施設の整備により、市民が気軽にスポーツ・文化芸術に親しむ場の提供や、こどもたちがスポーツ・文化芸術に触れる機会の提供に継続して取り組みました。

デジタル化の進展やコロナ禍を契機とした生活様式の変化等により、スポーツや文化芸術に直接触れる機会の減少が余儀なくされた期間がありました。

加えて、高齢化や地域コミュニティの希薄化などにより、今後スポーツ・文化芸術を支える人材不足が懸念されます。誰もが身近にスポーツや文化芸術に親しめる環境づくりと、担い手の育成が求められています。

また、豊かな自然や多彩な資源を有する本市において、関係人口の拡大などを促進するため、スポーツや文化芸術を生かしたまちづくりが求められています。

歴史・伝統文化においては、\*冠遺跡群や\*宮島細工の製作用具及び製品など、文化財の価値創出に係る調査を着実に行うことで、地域の活性化につながるとともに、宮島における\*伝統的建造物群保存地区の修理・修景事業により、町並みが徐々に整いつつあります。

一方で、高齢化や人口減少により、神楽などの民俗芸能を中心とした文化資源の伝承の担い手が不足しており、確実な継承のための人材育成や保存が必要です。

また、市内の文化財の収蔵展示施設は、収蔵機能と展示機能の偏在や老朽化が進んでいることから、効果的な活用をふまえた再編の検討が必要です。

さらに、\*文化財保存活用地域計画に基づき、地域住民と連携して文化財の現況把握や保存・活用を進めるとともに、宮島の歴史や町並みとその価値を\*島民が認識し、確実に継承していくことが重要です。

### 3 基本理念

#### 「ふるさと廿日市」に愛着と誇りをもち、ともに未来を創る人づくり

前計画においては、学校と家庭・地域がお互いに連携しながら一体となって歩んできた教育の土壌や、歴史や文化、産業、自然等の豊かな教育資源などを生かして、変化の激しい社会に対応し、住み続けたいと思える教育のまち廿日市市を実現することを目指し、「『ふるさと廿日市』に愛着と誇りをもち、未来を担う人づくり」を基本理念としていました。

前計画の基本理念の考え方は、将来の予測が困難なこれからの時代においても、引き続き、大切にしていけるべきものであり、市民一人ひとりが学び続け、他者とながらながら、幸せや豊かさを感じられる持続可能なまちを創っていきたいとの想いを市民の皆さんと共有するため、この基本理念を掲げます。

### 4 基本理念の実現に向け、大切に考える考え方（コンセプト）

基本理念の実現に向けて、大切に考える考え方（コンセプト）を次のとおり設定し、その視点をもって施策を展開していきます。

- (1) 教育を通じたウェルビーイングの向上
- (2) 持続可能なまちの創り手の育成

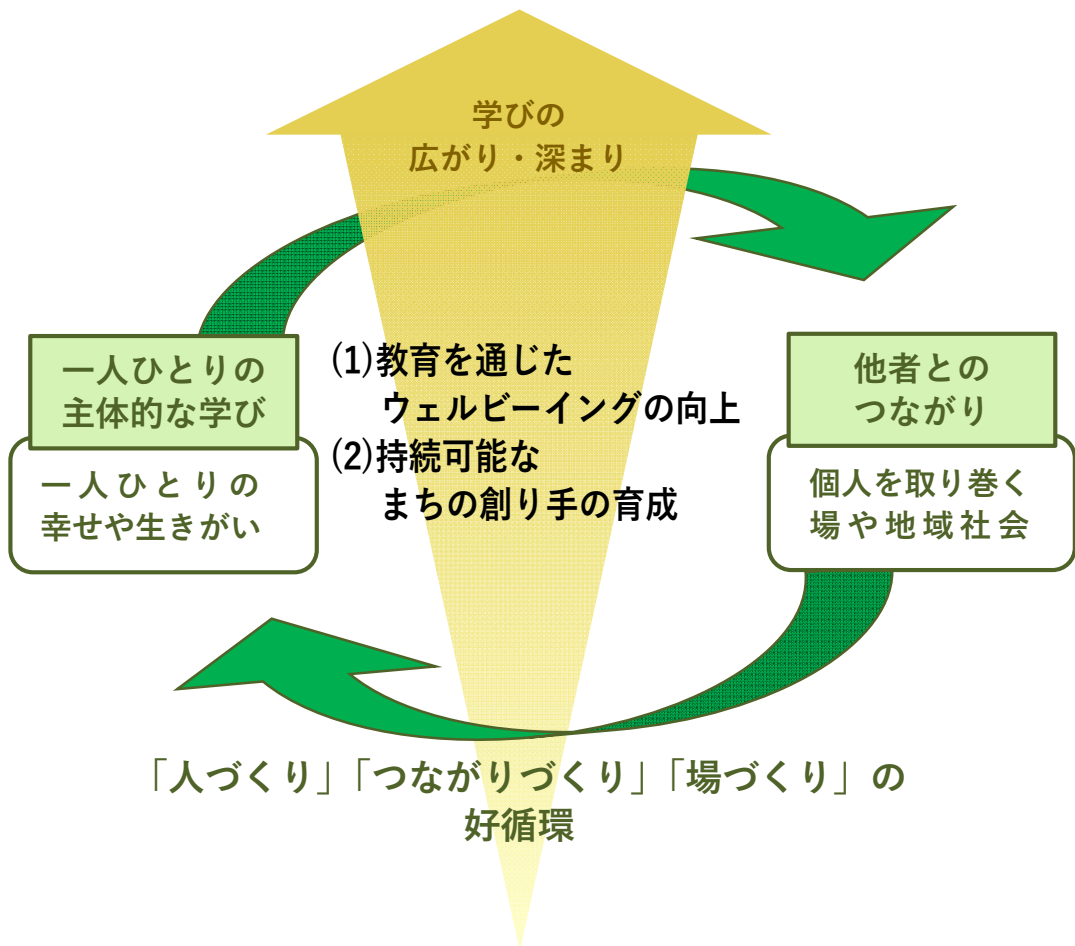
市民一人ひとりの主体的な学びを通じて、心も身体も社会的にも満たされ、複雑で変化の激しいこれからの社会を、他者とともに生き抜くことができる人づくりに取り組みます。

このことにより、多様な個人が学びを通じて幸せや生きがいを感じるとともに、一人ひとりの学びをさらに深めていくため、個人を取り巻く場や地域社会の中で、活動の輪が広がり、様々な考え方に触れたり、他者とのつながりを増やしたりする仕組みづくりに取り組みます。

こうした「人づくり」「つながりづくり」「場づくり」の好循環によって、学びを通じた個人の幸福感が一層高まるとともに、「ふるさと廿日市」の良さに触れ、気づき、愛着と誇りをもち、幸せや豊かさを感じられる持続可能なまちの実現につながるものと考えています。

幸せや豊かさを感じられる持続可能なまちを実現

「ふるさと廿日市」の  
良さに触れ、気づき、愛着と誇りをもつ



## 5 施策体系

基本理念	コンセプト	基本目標	施策の柱
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">「ふるさと廿日市」に愛着と誇りを持ち、 ともに未来を創る人づくり</p>	<p>(1) 教育を通じたウェルビーイングの向上</p> <p>(2) 持続可能なまちの創り手の育成</p>	<p>生きる力を育む教育の推進</p>	<p>1 質の高い学校教育の推進</p> <p>2 地域とともにある学校づくり</p> <p>3 児童生徒の学びを支える教育環境の充実</p>
		<p>ともに学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進</p>	<p>1 学びの環境づくり</p> <p>2 地域を支える人づくり・つながりづくり</p> <p>3 文化芸術に親しむことができる環境づくり</p> <p>4 文化芸術の振興・活用</p>
		<p>市民が誇れる歴史文化の継承</p>	<p>1 歴史文化の保存・活用</p> <p>2 宮島の歴史や文化とその価値の継承</p>
		<p>スポーツの振興</p>	

主な取組	はつかいち未来ビジョン における施策の目指す姿
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)確かな学力の育成</li> <li>(2)豊かな心と健やかな身体の育成</li> <li>(3)これからの社会に求められる資質・能力の育成</li> <li>(4)教育効果を高める教職員の体制づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒の生きる力を育むことができている。</li> <li>○児童生徒が安全・安心な学校生活を送ることができている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)地域全体で児童生徒を育てる体制づくり</li> <li>(2)地域を学ぶ機会の充実</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)児童生徒が安心して通える学校づくりの推進</li> <li>(2)一人ひとりに応じたきめ細やかな支援</li> <li>(3)児童生徒が安全に安心して学べる環境の整備</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)多様な学習機会の充実</li> <li>(2)学びを生かす機会の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民の多様なニーズに応じた学びの選択肢が増えている。</li> <li>○学びを通じた人づくりやつながりづくりによって、まちづくりを支える市民が増えている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)家庭・学校・地域との連携によるこども・若者の健全育成</li> <li>(2)協働による持続可能なまちづくりの推進</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)文化芸術に親しむことができる環境の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民が日常的に文化芸術に親しむ機会がある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)文化芸術活動の支援</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)文化財の保存・活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財が適切に保存・活用されている。</li> <li>○宮島の歴史や文化、価値が次世代に継承されている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)宮島の歴史や文化とその価値の継承</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)スポーツに親しむことができる環境づくり</li> <li>(2)スポーツの振興と人材の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民が日常的に体を動かしている。</li> <li>○市民が日常的にスポーツに触れている。</li> </ul>